

2011年度 学校評価報告書 (大阪聖母学院小学校)

学校目標	カトリックの価値観を基盤とし 人を愛し、自ら高める強い意志と豊かな心をもつ子どもを育成する
------	--

重点目標	1. カトリック教育を基盤とした心の教育の徹底 2. 高い学力をつけるための指導 3. 安全に留意し、安心して学校生活を送れるための配慮
------	--

学 校 自 己 評 価			
目 標		評 価	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果
1	カトリック教育を基盤とした心の教育の徹底	①自ら考え、共に認め合い、高めあう学習集団づくりに取り組む。 ②いじめや仲間はずれを許さず、互いに認め、励ましあう学級集団づくりに取り組む。 ③自分を必要としている人々や、異年齢の仲間に対して、奉仕の心で喜んで行動できる力を育成する。	①宗教をはじめ全ての学習を通して、温かく規範意識の高い集団を育成するように努めた。 ②宗教をはじめ全ての学習を通して、温かく規範意識の高い集団を育成するように努めた。 ③子どもたちが、自らの意志で積極的に周りの人々に働きかけようとする意識が希薄な面が伺えた。隣人は同じ学級の友だちだけではなく、聖母に通う仲間全ての子どもが自分たちの隣人であるという感覚を持たせられるよう努めた。
2	高い学力をつけるための指導	①「楽しくわかりやすい授業」の研究と実践に努める。 ②授業を通して、友だちと認め合い支えあいながら、各自の目標に向かって自分から進んで学習する集団を育てる。 ③基礎基本の徹底に努め、中学校入試にも対応できる高い学力を身につけさせる。	①英語教育においては、授業に歌・ゲームなどを積極的に取り入れ、子どもたち自身が楽しめる授業を展開した。また、カリキュラム・指導方法の見直しを行い、本校独自の教育をより明確にするよう努めた。 ②宗教をはじめ全ての学習を通して、温かく規範意識の高い集団を育成するように努めた。また、確かな学力をつけるために宿題を与えたり、必要に応じて補習を実施した。 ③担任および各学年のT T (算数)を中心として、個別指導を通じた一人ひとりの子どもたちの学力向上を図った。また、学年の補助が必要な場合は、必要に応じて柔軟に対応する体制を整備した。
3	安全に留意し、安心して学校生活を送れるための配慮	①校内施設の安全に十分配慮し、毎月欠かさず安全点検を実施する。 ②日々の保健安全指導を通して、自分や友だちの健康と安全に留意し、事故やけがの無い学校生活を送れるように指導する。 ③困ったことが起きた時、すぐに相談できるよう教師との信頼関係を日常的に深める。	①安全点検を実施した。 ②児童会などの自治的な活動を通して、子どもたち自身が自覚できるよう、日常的な指導と合わせて指導を行った。 ③各家庭における子どもとのコミュニケーション、子どもの成長に寄せる願いを、家庭・学校間で更に深く共有できるよう努めた。また、休み時間をはじめ、学校生活全般に全教職員で目を配り、安心して過ごせるように努めた。

学 校 関 係 者 評 価
学校関係者からの意見・要望・評価等
以下の三つの観点から評価を行った。 ① 今年度の『学校評価』のあり方は適切であったか。 ② 今年度の学級・学年・学校の取り組みは、子どもたちや保護者の願いにそったものであったか。 ③ 学級委員会活動をより活性化するためについて。 【評価の在り方について】 ・質問の項目は概ね適切だった。 ・1年生では、質問の内容を理解できているのか。 ・アンケートの実施時期は、友だち関係が落ち着く1学期末頃がよい。 ・「あてはまらない」の項目の内容を具体的に知りたい。 ・学習に関しては、回答項目が「楽しい」となっているが、教科によっては、「楽しい」という回答はふさわしくない。 【取組の成果と課題】 ・今年度の学級・学年・学校の取り組みは、子どもたちや保護者の願いに沿っていた。 ・校外の大きなコンサートホールでの「音楽発表会」はあたらしい取組としてよかった。 ・学級通信のある学級とない学級、また学習の進捗についても学級間で差が感じられる。 ・参観の授業は、イベント的な内容のものが多いが、普段の内容に沿った授業を公開してほしい。 ・4年生で実施した「2分の1成人式」の取組はよかった。 ・「英語」の授業を充実してほしい。 ・補習授業は充実している。 ・学校から出される宿題(課題)が塾のものと重なり量的に多いので、検討してほしい。 ・学習に関しては、回答項目が「楽しい」となっているが、授業内容は、「楽しい」ものを学校は求めているのか。 ・専科の授業が問題。 ・給食に関しては、「アレルギー対応」はとられているのか。 ・運動会は、「熱中症」が心配される。